

第9回アドバイザー・ボード会合の概要

「アドバイザー・ボード」の第9回会合の日時・出席者等については、以下に示すとおりである。

日 時：2010（平成22）年3月18日（木） 13時00分～15時00分

場 所：神戸大学六甲台本館3階大会議室

出席者：

アドバイザー・ボード委員（五十音順，敬称略）

家次恒，岩田弘三，江崎勝久，小川泰彦，小椋昭夫，河内鏡太郎，
角和夫，高崎正弘

経営学研究科教員

加登豊，金井壽宏，水谷文俊，藤原賢哉，松尾博文，南知恵子，
末廣英生，平野光俊，清水泰洋，高田知実，蔵本一也，波田芳治
（田村正美）

「アドバイザー・ボード」も第3期となり，新たに3人のメンバーに加わっていただいた。そのメンバーで最初の会合となる第9回会合では，まず，研究科長の加登と次期研究科長の金井から，2009（平成21）年度の経営学研究科・経営学部の諸活動（研究，教育，社会連携，その他），および2010（平成22）年度の活動計画についての報告があり，引き続き，質疑応答が行われた。その概要を以下に記す。

報告事項のうち主なものとして，①2012（平成24）年度からの学部入試方法の一部変更（推薦入試の実施），②学部1年次教育の充実（入門演習，サポート制度など），③博士課程学生の多様化（前期課程修了後就職をめざす学生，留学生，社会人後期課程学生），④MBAプログラムの現況（科目の多様化，プロジェクト方式の実際），⑤経営人材育成に関する京都大学、慶應義塾大学との協力，⑥NPO法人現代経営学研究所と協同してのシンポジウムやワークショップ，研修事業の実施，⑦教員の兼業など社会貢献活動，⑧外部資金の獲得（大阪でのMBA教室移転と産学連携拠点の開設），が挙げられた。

質疑応答では，①社外取締役（独立役員）への神戸大学教員の就任可能性と利益相反との関連性，②MBAプログラムの志願状況，③グローバル・リンクの提携先におけるEU大学の位置づけ，④学部におけるキャリア教育，教養教育のあり方，⑤英語教育の現状、学生の海外志向，に関して意見交換が行われ，有益な助言を得た。今後、研究科構成員の議論を経て、着実に実行していきたい。